

令和元年度事務事業評価及び特定分野評価に係る改善計画書

事業名	放課後学習あすなろ教室事業費				
担当課	教育開発センター	課長名	藤本 謹吾		
事業の目的と実施内容					
目的	学力向上と学習習慣の定着を図ることを目的に、小学校3・4年生の希望する児童を対象として、年間20回、各小学校の教室等で国語と算数を中心として、教育委員会作成のオリジナルプリントを活用して学習指導を行っています。				
内容・方法	本事業等の内容は、次に掲げるものとし、それぞれの教室に講師を配置して実施しています。 (1) 小学校3・4年生の国語及び算数の復習を中心とした個別の学習指導 (2) 基礎的・基本的な内容を児童に定着させるための教材の作成 (3) 自立学習に向けた学習習慣確立のための支援				
1 評価結果及び町の最終方針					
自己	改善	一次	改善	二次	—
今後の方向性に係る意見等(最終)			評価結果を踏まえた所管課の対応案		
所管課の方向性に加え、より一層の「学習習慣の定着と学力の向上」につながるよう、成果の低下要因を分析した上で、より効果的に事業を実施していくべきである。			「あすなろ教室事業」は継続しつつ、より効果的・効率的な事業となるよう、今後全町のすすめる「コミュニティー・スクール」及び「地域学校協働活動推進事業」における実施を視野に入れた研究をすすめる。 また、成果の低下要因については、参加児童が年度により異なるため経年的な分析は不可能であるが、意見の趣旨を踏まえ今後多面的な分析を行い事業の実施に生かしていく。		
町の最終方針					
改善	「あすなろ教室事業」は引き続き実施するものとし、より一層の「学習習慣の定着と学力の向上」につながるよう、成果の低下要因を分析した上で、より効果的に事業を行うものとする。				
2 町の最終方針を実施するための具体的な方法					
項目名	時期(期限)	具体的な改善等の内容			
改善内容の検討	R2. 3	成果の低下要因分析			
予算要求	R2. 12	分析を基に予算要求を行う			
講師募集	R3. 3	広報やHPで講師の募集を行う			
実施	R3. 4～	新体制で実施			
3 改善後の事業が目標とする成果					
指標の名称 ※原則として評価時と同一	単位	基準年度 (H30)	R1	R2	
参加児童における満足度	%	34.1	41.7	50	
目標とする成果の設定理由	主体的な学びが、学習習慣と学力の向上に資するため				
4 経費等の見込み					
			R1(決算見込)	R2	R3
事業費(予算) 単位:千円			1,232	1,354	2,159
概算職員数 単位:人			0.05	0.05	0.05

